

目 次

I	学校関係者評価の概要及び実施状況	2
1.	学校関係者評価の基本方針	2
2.	学校関係者評価委員名簿	2
3.	学校関係者評価委員会の実施状況	3
4.	学校関係者評価の評価方法	4
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告書	5
	総評	5
1.	平成 30 年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画	6
2.	評価項目の達成及び取組状況	7
基準 1	教育理念・目的・育成人物像等	7
基準 2	学校運営	7
基準 3	教育活動	8
基準 4	教育成果	8
基準 5	学生支援	8
基準 6	教育環境	9
基準 7	学生の募集と受入れ	9
基準 8	財務	9
基準 9	法令等の遵守	10
基準 10	社会貢献	10
基準 11	国際交流	10
	総合評価 (各委員のコメント)	11
III	学校関係者評価委員会議事録	12

I. 学校関係者評価の概要及び実施状況

1. 学校関係者評価の基本方針

(1)基本方針

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて行う事を方針とし、実施および公表については「窪田理容美容専門学校評価実施規程」に則って実施される。

(2)目的

窪田理容美容専門学校における学校関係者評価の目的は以下の通りである。

- ①自己点検評価の結果を学校関係者により評価し、自己点検評価の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者（卒業生、関係業界・団体、保護者、地域企業など）らとの連携を図り、意見を聴取し、学校運営改善を努める。

(3)実施

窪田理容美容専門学校における学校関係者委員会は以下のように年2回実施される。

- ①第1回目(9月実施)の委員会は主に、前年度の実績を評価した自己点検評価の報告を行い、委員会にて評価を実施する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容についても報告する。
- ②第2回目(3月実施)の委員会は主に、1回目で評価・意見に基づき、その内容を反映させた取組み・実績を報告する。また各学科の教育課程編成委員会で検討された内容や次年度以降の重点的に取り組む目標・計画を報告する。

2. 学校関係者評価委員名簿

窪田理容美容専門学校の学校関係者評価委員は以下の通りである。

	氏名	所属	役職
卒業生	大平 正司	理容室 ZANGIRI	代表
関係企業・団体	五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
関係企業・団体	坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
卒業生保護者	船木 美弥子	保護者代表	

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

1 学校関係者委員会実施日時・場所

日時：令和元年9月26日（木） 15：00～17：00

場所：窪田理容美容専門学校 4階会議室

2 学校関係者評価委員会 進行状況

- | | |
|-------------------------|-------------|
| (1) 開会（挨拶、配布資料確認） | 15：00 |
| (2) 出席者紹介（評価委員、窪田学園教職員） | 15：00～15：15 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 15：15～15：25 |
| (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 | 15：30～17：00 |
| ①重点的取り組み項目（評価判定） | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定） | |
| ③学校運営（評価判定） | |
| ④教育活動（評価判定） | |
| ⑤教育成果（評価判定） | |
| ⑥学生支援（評価判定） | |
| ⑦教育環境（評価判定） | |
| ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定） | |
| ⑨財務（評価判定） | |
| ⑩法令等の遵守（評価判定） | |
| ⑪社会貢献（評価判定） | |
| ⑫国際交流（評価判定） | |
| 各項目の前回評価後の取り組み説明 | |
| (5) 質疑応答・意見交換 | |
| (6) 閉会 | |

4. 学校関係者評価の評価方法

本学園の自己点検・自己点検評価を重点的に取組む項目及び、11分類59項目、併せて62項目についての自己点検評価の結果を1段階から4段階の4段階評価で評価を行い、自己点検報告書にまとめる。

学校関係者委員が行う学校関係者評価は自己点検評価報告書の評価について「適切」、「不適切」の2択で評価を実施する。各項目については当日に取組みや目標及び計画についての説明を自己点検評価委員から受け、総合的に判断する。評価報告書に記載されている「総合評価結果」については、各基準の項目の平均値ではなく、各学校関係者評価委員の評価を反映させた評価結果としている。

Ⅱ. 学校関係者評価委員会 評価結果報告書

総評

今年度の窪田理容美容専門学校の自己点検評価結果を拝見し、学校全体の取り組みや目標などが記載されており、評価項目も隅々まで行き届いたものだと考えます。窪田理容美容専門学校は67年という理美容学校でも長い歴史を持ち、業界に多くの卒業生を輩出している学校ですが、今回、学校関係者評価委員会に参加して、我々、各業界や立場の異なる学校関係者評価委員の立場として評価やご意見を述べさせて頂きました。

全体的な評価としましては至って適正な学校運営・活動を実施している学校だという結論を再認識致しました。前年度に挙げられた目標や計画を全てという訳には参りませんが、着実に推し進められており、安心致しました。劇的な変化ではなく、確実に一歩ずつ前進している姿に好感が持てる次第です。まだ進捗状況としては未達成のものや計画段階にある項目もございますが、窪田理容美容専門学校が理美容業界にとって、社会的責任を果たそうという姿勢は評価に値すると考えます。

本評価委員会の形式も毎回変化するのも、改善努力を行おうとしている現われだと感じ、今後も窪田理容美容専門学校と各関連業界および、卒業生や保護者など多くの関係者と連携を取り、様々な取り組みを実施し、素晴らしい学校と言われる学校づくりに期待致しております。

窪田理容美容専門学校
学校関係者評価委員会一同

1. 平成 30 年度に定めた重点的に取り組む必要がある目標・計画

重点項目 1 職業実践専門課程に係る取り組み

総合評価結果 ④	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・文部科学省から学校の認定が決定される事を望んでおります。
- ・実務実習で得た結果から、モラル、主体性等人格形成にテーマを置いて改めて指導を強化するなど、フレキシブルに取り組んでいる。
- ・企業との連携は特に時代の流れを汲むという点、把握するという点で良い取り組みで、指導の改善につながるものとして良かったと思います。
- （提案）教員の企業研修として連携サロンに 1～2 日出勤してサロンの実状を体験する。これは、大手メーカー企業でも行っているもので、受付やヘルプを主に行っている。

重点項目 2 カリキュラムの見直しとシラバスの精査

総合評価結果 ④	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・実務実習の成果は生徒の正しい感想をまとめてほしい。
- ・学生、教員共にシラバスを把握して行動することで目標を達成できます。常に手直しを加え、育成に活かしたい。
- ・国家試験などの取り組みは成果として表れている。カリキュラムの見直しをしていることで生徒のレベルも上がって来ているのではないのでしょうか。
- （提案）企業が行うマナー講習（モラル講習）など、躰につながる学生への指導は、必要な人材となる一歩になるのでは？

重点項目 3 教職員研修及び人員確保への取組み

総合評価結果 ③	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学園の御指導力を期待します。
- ・適切に採用及び研修を実施し、スキルアップに取り組んでいる。
- ・教員研修について内容など精査したり、別途チェックする機会があると良いかと思えます。研修を指導する人材の選出や基準の見直しも視野に入れる。教員採用は一定の成果が出ていることは喜ばしい運営の成果。

2. 評価項目の達成及び取組状況

基準1 教育理念・目的・育成人物像等

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・一般社会に向けて（高校、大学等）学園の特色を示して行くべきと思う。
- ・校訓に基づき育成する人物像が明確であり、また時代のニーズに応じた教育を行っている。
- ・美容界以外でも企業の理念教育は注目されていることで、とても大事な項目。より分かりやすく紐解く授業があっても良いと思えます。人に幸せを与えるということとは何なのか？ 共に幸せになろうということとは、自分がどうなっていたら良いのか？ など基本理念ワークなど出来ると良いと思えます。

基準2 学校運営

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・AIでオーナー、生徒のデータをまとめて、アップしておいてほしい。
- ・それぞれの項目においてシステムが良く機能している。

・教育活動など SNS での公開は出来ているが、拡散力が弱い。求人先の高校や父兄などにフォローになってもらい、リツイートしてもらおう取り組みも必要では？

基準 3 教育活動

総合評価結果 ④	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

・教職員のレベル向上（技術を含めて）に成果が出て来ていると思う。

・教職員に対する研修等評価されることであるが、更なる努力を続けたい。

・教育活動として、知識・技術において研修後の共有とそれぞれの理解度のギャップを無くすための取り組みで学校組織の強さが出来上がる。（内容把握度、疑問を出し合い消して行く時間をつくる）

レベルアップ=底上げが必要。

基準 4 教育成果

総合評価結果 ③	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

・成長過程の生徒の複雑な心理は、成長●●の把握もあり、考慮すべきである。

・実務実習を通じて職場体験をする事で、離職率を低減する効果が得られると良い。

・学生と企業のマッチングを就職指導する時の基準の一つとして活用されると離職率の低下につながると思います。一定のサポートは出来ていて結果にもつながっていると思います。

基準 5 学生支援

総合評価結果 ④	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

・支援状況は良いと思います。

- ・経済的支援策が多岐にわたり考えられています。就職先と返済計画を共有し、離職の一因にならないように配慮したい。
- ・近年まれにみる手厚さで支援出来ていると思います（経済的にも環境面も）。卒業してからの行き先や学校側からの TEL 又は LINE などの手段を使い、支援・協力態勢が出来上がると学生も心強いのではないのでしょうか？

基準 6 教育環境

総合評価結果 ④	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・日本の気候変動が激しいため、冷暖房にて教室の勉強環境を整えておいて欲しい。
- ・学生が自分の生き方、考え方、性格に合う職場を選ぶ基準を実感する為に、インターンシップ制はとても良い制度だと思います。
- ・企業との連携は大切だが、環境面では十分に取り組み成果を出している。整備も十分である。

基準 7 学生の募集と受入れ

総合評価結果 ④	適切	4 人	不適切	0 人
----------	----	-----	-----	-----

委員コメント欄

- ・早めに入学内定を示しておいてほしい。
- ・SNS、YouTube など動画で多くの高校生に疑似体験してもらい、その上でオープンキャンパスで実体験をすることでファンを獲得。先生方の言葉も動画配信できるといいですね。
- ・学生募集活動は、各県・地域のどのレベルに対して活動の基準を合わせるか？中堅・中の上・中の下・下層など。又は、20～25 年前の卒業生の出身高から息子・娘など 2 世が入学するケースも多いので、アプローチしやすいと思う。これで一定の成果が出せるのでは？高速バスの発着地域での募集など。7-46、7-47 に十分に行われている。

基準 8 財務

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・監査のほかに年2回の審査を設けると良い。
- ・問題無し。
- ・十分な取り組みで安定した状態を築けている。

基準 9 法令等の遵守

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・運営委員会にて、自己点検のリスクを発表して議題にしてみたら良いと思います。
- ・適切に対応されています。
- ・法令や基準に対して適正な運営は出来ていると思う。9-54は劇的な成果を出すためではなく、少しずつ改善されることが多いので、取り組みはしっかり出来ている。

基準 10 社会貢献

総合評価結果 ④	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学生の自主的なボランティアを募ってみたら良い。
- ・地域社会に貢献されています。
- ・貢献活動は十分に行っていて、学生とのコミュニケーションの源になるので、災害時にも支援態勢が取れると素晴らしい。

基準 11 国際交流

総合評価結果 ③	適切	4人	不適切	0人
----------	----	----	-----	----

委員コメント欄

- ・学園に委ね頑張って下さい。
- ・就労の法整備を前提に準備が必要になるでしょう。
- ・近年こちらからというよりも、海外から出向いて来て交流を図るケースも出て来ていることを耳にします。言葉の壁が一番難しい。

総合評価（各委員のコメント）

大平 正司 委員

全般に学園としては非常に良いと思いますが、第一に生徒の入学の増加、第二に退学の低下、第三に利益の向上（健全な）。オープンキャンパスの増大により来園が多いとのこと。入学までの道を実際に増やすカリキュラムも欲しい（示してほしい）。次年度に向け互いに頑張りましょう。

五十嵐 義昭 委員

多岐にわたりテーマを作り、問題解決に向けて手段を講じ、より良い教育環境を整えようと努力しておられます。

坂本 輝雄 委員

理美容学校ではあるが、理美容業界以外の業界の動きなども、現在の学生伝える取組みも大変有意義なものになると考えます。今後の学園に期待いたします。

Ⅲ 学校関係者評価委員会議事録

令和元年 9 月 26 日

令和元年度 第 1 回 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時 : 令和元年 9 月 26 日 (木) 15:00~17:00
2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 4 階会議室
3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
大平 正司	理容室 ZANGIRI	代表取締役
五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
船木 美弥子	卒業生保護者	

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
中村 雅江	校長
窪田 崇	事務長
岡田 究	広報渉外課長
杉本 邦夫	学生課課長代理
小笠原 努	理容学科長
星野 愛子	美容学科長
入口 栄子	テクニカルスタイリスト科学科長
佐々木 久仁江	教務主任
齊藤 俊二	教員

4. 進行状況

- (1) 開会 (挨拶、配布資料確認) 15:00
- (2) 出席者紹介 (評価委員、窪田学園教職員) 15:00~15:05
- (3) 理事長・校長挨拶 15:05~15:10
- (4) 自己点検評価結果の解説及びその評価 15:10~16:15

- ①重点的取り組み項目（評価判定）
- ②教育理念・目的・育成人物像等（評価判定）
- ③学校運営（評価判定）
- ④教育活動（評価判定）
- ⑤教育成果（評価判定）
- ⑥学生支援（評価判定）
- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 16 : 15

(6) 閉会 16 : 30

平成 31 年 3 月 28 日

**平成元年度 第 2 回
学校関係者評価委員会議事録**

1. 日 時 : 令和 2 年 3 月 30 日(月) 15 : 00～17 : 00

2. 場 所 : 窪田理容美容専門学校 4 階会議室

3. 出席者委員 :

(1) 学校関係者委員

氏 名	所 属	役 職
大平正司	理容室 ZANGIRI	代表取締役
五十嵐 義昭	日本ヘアデザイン協会(NHDK)	理事
坂本 輝雄	有限会社プラテ	代表取締役
船木 美弥子	卒業生保護者	

(2) 学校教職員

氏 名	役 職
窪田 多美子	理事長
中村 雅江	校長
齊藤 昌利	教務課長
岡田 究	広報渉外課長
小笠原 努	理容学科長
岡田 栄子	テクニカルスタイリスト科学科長
窪田 崇	事務長
齊藤 俊二	教員

4. 進行状況

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| (1) 開会 (挨拶、配布資料確認) | 15 : 00 |
| (2) 出席者紹介 (評価委員、窪田学園教職員) | 15 : 00～15 : 10 |
| (3) 理事長・校長挨拶 | 15 : 10～15 : 20 |
| (4) 第 1 回の学校関係者評価報告書を受けての取組み説明 | 15 : 25～16 : 15 |
| ①重点的取り組み項目 (評価判定) | |
| ②教育理念・目的・育成人物像等 (評価判定) | |
| ③学校運営 (評価判定) | |
| ④教育活動 (評価判定) | |

- ⑤教育成果（評価判定）
- ⑥学生支援（評価判定）
- ⑦教育環境（評価判定）
- ⑧学生の募集と受け入れ（評価判定）
- ⑨財務（評価判定）
- ⑩法令等の遵守（評価判定）
- ⑪社会貢献（評価判定）
- ⑫国際交流（評価判定）

(5) 質疑応答・意見交換 16 : 20

(6) 閉会 17 : 00